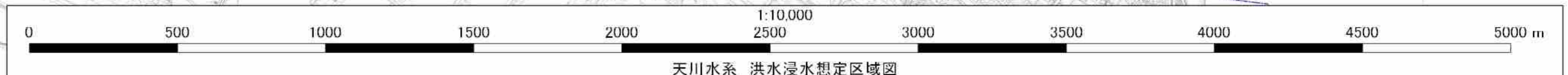


1 説明文
 (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川について、基本高水の設定の前線となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の「2基本事項等」中「(3)公表する河川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年(1)回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況(シミュレーション)により算出されたものです。
 (3) なお、このシミュレーションに当たっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川以外の河川の氾濫、シミュレーションの前線となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
 2 基本事項等
 (1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 令和 年月 日
 (3) 公表する河川 天川(氷原天川(指定県民局(センター):東播磨県民局、中播磨県民センター)、天川(氷原出川(指定県民局(センター):東播磨県民局、中播磨県民センター))
 姫路市、高砂市、加古川市、加西市
 (4) 関係市町 姫路市、高砂市、加古川市、加西市
 (5) その他の計算条件等
 (1) この図は「(3)公表する河川」で治水・治水・破壊した場合の洪水浸水想定区域を回示しています。このため、「(3)公表する河川以外の河川」水路が治水・治水・破壊した場合の浸水状況は回示していません。
 (2) この図は、「(3)公表する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては治水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 (3) 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため地形による影響が表せていない場合があります。
 (4) 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続堤土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水深から、5mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m以上3.0m未満の区域
- 3.0m以上6.0m未満の区域
- 市町界
- 浸水想定区域指定の対象となる河川(区間)



加西市

1 説明文
 (1) この図は、「2基本事項等」中「(3)公表する河川について、基本高水の設定の前掲となる降雨(以下、「計測降雨」という。)による浸水が想定される区域(以下、「洪水浸水想定区域」という。)と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時の「2基本事項等」中「(3)公表する河川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年1回程度起こる大雨が降ったことにより「2基本事項等」中「(3)公表する河川」が氾濫した場合に想定される浸水の状況シミュレーションに基づき算出したものです。
 (3) なお、このシミュレーションにあたっては、「2基本事項等」中「(3)公表する河川」以外の河川の氾濫、シミュレーションの前掲となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 兵庫県
 (2) 公表年月日 令和 年 月 日
 (3) 公表する河川 天川水系天川(指定国民センター)・東播磨国民局、中播磨国民センター)
 天川水系思出川(指定国民センター)・東播磨国民局、中播磨国民センター)

(4) 関係市町 姫路市、高砂市、加古川市、加西市
 (5) その他の計算条件等
 ① この図は「(3)公表する河川」で洪水・越水・氾濫した場合の洪水浸水想定区域を回示しています。
 このため、「(3)公表する河川」以外の河川・水路が洪水・越水・氾濫した場合の浸水状況は回示していません。
 ② この図は、「(3)公表する河川」の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破壊させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 ③ 氾濫計算は対象区域を25mメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため地形による影響が表れていない場合があります。
 ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続堤土構造物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25mメッシュで計算した最大浸水深から、6mメッシュの地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ラング別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m以上3.0m未満の区域
- 3.0m以上5.0m未満の区域

市町界

浸水想定区域指定の対象となる河川区間

